

科目名		経営管理論 I (Management Theory I)							
学年	学科(コース)	単位数		必修/選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第3学年	経営情報学科	履修	1単位	—	講義	前期 90分/週	30時間		
担当教員		【非常勤】川村 一真 (【副担当】松野 成悟)							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル	(1)企業の経営活動についての基本的なしくみが理解できる。 (2)企業における経営管理の機能と技術について理解できる。 (3)経営管理論の成立と歴史的な発展過程について説明できる。								
学習・教育目標	(C)②	JABEE基準1(2)			—				
関連科目, 教科書および補助教材									
関連科目	基礎経営学								
教科書	教科書は用いない。参考書として経営管理(塩次喜代明など, 有斐閣), 経験から学ぶ経営学入門(上林憲雄など, 有斐閣)を用いるほか, 講義中に適宜紹介する。								
補助教材等	プリント								
達成度評価 (%)									
評価方法 指標と評価割合	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	50	50							100
知識の基本的な理解 【知識・記憶、理解レベル】	◎	◎							
思考・推論・創造への適用力 【適用、分析レベル】	○	○							
汎用的技能 【 】									
態度・志向性(人間力) 【 】									
総合的な学習経験と創造的思考力 【 】									
学習上の留意点および学習上の助言									
<p>本授業は、経営管理論の成立と歴史的な展開について、有力な学説の紹介と解説および吟味をおこない、経営管理の基本的な機能と方法について学習する。また、経営組織論や経営戦略論の研究成果を踏まえ、環境適応や組織変革、グローバル戦略や現代日本の経営管理など、最新の研究領域も積極的にとりあげ、企業における経営管理の今日的な課題についても検討する。</p>									

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス	・シラバスを通じて、学習の意義や授業の進め方、評価方法などを理解できる。	
2	現代企業の経営管理①	・現代の企業社会についての現状と動向を理解できる。	授業中に配布した資料を復習すること
3	現代企業の経営管理②	・企業形態の種類と特徴を理解できる。	授業中に配布した資料を復習すること
4	現代企業の経営管理③	・株式会社のしくみを理解できる。	授業中に配布した資料を復習すること
5	企業統治のしくみと変容①	・ビッグ・ビジネスの出現と専門経営者の登場について理解できる。	授業中に配布した資料を復習すること
6	企業統治のしくみと変容②	・所有の経営（支配）の分離について、今日的な視点からの検討も含めて理解できる。	授業中に配布した資料を復習すること
7	企業統治のしくみと変容③	・財閥の形成と解体、企業集団の形成と変容を理解できる。	授業中に配布した資料を復習すること
8	<b>中 間 試 験</b>		
9	答案返却・解答解説 企業統治のしくみと変容④	・試験問題の解説を通じて、間違った箇所を理解できる。 ・企業の合併・買収（M&A）のしくみと動向を理解できる。	授業中に配布した資料を復習すること
10	経営管理の生成と発展①	・伝統的管理論について、官僚制を理解できる。	授業中に配布した資料を復習すること
11	経営管理の生成と発展②	・伝統的管理論について、科学的管理を理解できる。	授業中に配布した資料を復習すること
12	経営管理の生成と発展③	・伝統的管理論について、管理過程論を理解できる。	授業中に配布した資料を復習すること
13	経営管理の生成と発展④	・伝統的管理論の限界をふまえ、人間関係論を理解できる。	授業中に配布した資料を復習すること
14	経営管理の生成と発展⑤	・人間関係論の特徴とその限界、その後の管理論の流れを理解できる。	授業中に配布した資料を復習すること
	<b>期 末 試 験</b>		
15	答案返却・解答解説 全体の学習事項のまとめ 授業改善アンケートの実施	・試験問題の解説を通じて、間違った箇所を理解できる。 ・全体の学習事項のまとめが理解できる。	
<b>総 授 業 時 間 数</b>			30 時間